

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	71150	道路河川等整備推進事務費	担当課	基盤整備部 建設課	内線	2331
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7 土木費		分野	3 道路・交通	
	項	1 土木管理費		基本施策	1 便利で快適な道路環境を整備する	
	目	1 土木管理費		施策	1 機能的な道路ネットワークの形成	
実施計画事業	国・県道等自動車道整備促進事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります。産業振興、交通安全、生活支援、防災等の幅広い観点から、高速交通網、地域連絡主要道路等の整備促進を国、県に対し強く要望します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 国、県道の整備を促進することで、市道とのより良い道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 河川を始め災害から市民の生命財産の保護を図る。 		
概要	事業の実施手法(手段)	同盟会を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた提言活動の実施。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 要望回数	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	-
			達成率(%)	100	100	100	-
成果面	②	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
成果指標	①	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	①	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	②	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	③	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	④	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑤	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑥	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑦	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑧	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑨	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑩	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑪	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑫	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑬	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑭	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑮	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑯	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑰	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑱	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑲	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	⑳	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉑	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉒	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉓	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉔	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉕	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉖	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉗	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉘	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉙	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉚	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉛	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉜	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉝	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉞	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㉟	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊱	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊲	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊳	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊴	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊵	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊶	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	㊷	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72300	道路新設改良事務費		担当課	基盤整備部 建設課		内線	2331
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通	
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3	道路新設改良費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成	
実施計画事業								
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域道路網の安全性と信頼性を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	道路新設改良事業実施に伴う事務費 車両燃料代、機械借上料他		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		達成率(%)				
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				4,861	3,582	2,250	0
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	一般財源				4,861	3,582	2,250	0
	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画		
	(A/B)		52	38	24			
	① 受益者	市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,200		
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)	C(0)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	総合計画に位置付けられた事業であり、地域道路網の安全性と信頼性を確保する事業である。	
	B(1)	一部結びつく				
	C(0)	結びつかない				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	地域住民の利便性、安全性が向上するものであり、ニーズは非常に多い。	
	B(1)	ある程度のニーズがある				
	C(0)	少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		A	計画的に事業を実施することにより、多くの市民に対し、地域道路網の安全性と信頼性を確保する。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ				
	C(0)	わずかな受益者に限定される				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		B	主要幹線道路の整備については、整備計画に基づき事業を実施しており、概ね目標通りの成果を達成している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)				
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		A	各路線ごとの課題解消に向けた整備を実施しており、有効である。	
	B(1)	概ね有効である				
	C(0)	見直しが必要である				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	計画段階から、費用最小限での効果的な整備の実施を念頭に、常に改善・工夫に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		B	使用料賃借料の見直しを行い、常にコスト縮減に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	道路利用者の利便性と快適性の向上が図られることから適正である。	
	B(1)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		A	投入コストに見合った効果が期待できる。	
	B(2)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
合計				17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	道路改良事業の実施は地元のニーズも高く、地域住民の利便性、安全性が向上するものである。計画的な事業の推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の事業用地取得に努める。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,250	2,306	56	2,250	2,250
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	2,250	2,306	56	2,250	2,250

予算要求の概要	・道路改良事業の交付金事務及び関係機関協議に伴う旅費交通費 ・道路改良事業事務に伴う消耗品費 ・道路改良事業現場監理に伴う現場用車両の賃借料 ・現場用車両の燃料費など
要求額増減理由	
事業実施の課題	・円滑な現場運営及び職員の資質向上に向けた各種研修の参加

財務部査定の考え方	・積算内容を精査し前年並みの事務費とする
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72310	道路新設改良事業費		担当課	基盤整備部 建設課		内線	2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通	
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3	道路新設改良費		施策	2	生活に身近な道路の整備	
実施計画事業	橋りょう耐震補強事業、昭和3号線他道路改良事業、花本線道路改良事業、花岡上岡本線道路改良事業他							
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域道路網の安全性と信頼性を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	道路の新設、拡幅改良、歩道設置、橋りょう耐震補強 ○道路局、社会資本整備総合交付金(5.5/10)		
前回の評価からの改善・改革のポイント	必要な機能を最小限の費用で確保する。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		道路用地取得面積	m ²	目標値	3,900	1,271	1,407	3,800
算出根拠等		実績値	6,193	1,178		-		
		達成率(%)	159	93		-		
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		橋りょう整備数	橋	目標値	3	13	14	5
算出根拠等		実績値	3	13		-		
		達成率(%)	100	100		-		
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		道路整備延長	m	目標値	0	145	958	230
算出根拠等		実績値	0	145		-		
		達成率(%)		100		-		
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
算出根拠等		歳出(千円)(A)	997,959	836,943	775,004	861,000		
		受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0		
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	205,757	269,112	277,750	303,249		
		一般財源	792,202	567,831	497,254	434,273		
コスト指標	①	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
		(A/B)	10,590	8,921	8,306	9,238		
算出根拠等		受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,200		

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画に位置付けられた事業であり、地域道路網の安全性と信頼性を確保する事業である。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	地域住民の利便性、安全性が向上するものであり、ニーズは非常に多い。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	計画的に事業を実施することにより、多くの市民に対し、地域道路網の安全性と信頼性を確保する。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	主要幹線道路の整備については、整備計画に基づき事業を実施しており、概ね目標通りの成果を達成している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	各路線ごとの課題解消に向けた整備を実施しており、有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	計画段階から、費用最小限での効果的な整備の実施を念頭に、常に改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	使用資材の選定や最適工法の選択等、工事の実施に当たり、常にコスト削減に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	道路利用者の利便性と快適性の向上が図られることから適正である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	道路改良事業の実施は地元のニーズも高く、地域住民の利便性、安全性が向上するものである。計画的な事業の推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の事業用地取得に努める。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	橋りょう整備の手法等を考えていくことが、平成22年度事業評価において課題となっていたが、橋りょう長寿命化修繕計画が策定されたことにより方針が決定されたことから、今後同計画に基づき着実に推進していく必要がある。 平成22年度事業評価において、事業用地取得に向け、地権者との交渉を継続して行い、事業推進を図る必要があるとの指摘をしており、引き続きこうした取組を行う必要がある。 補助金(交付金)採択状況により、必要に応じ、事業の進捗調整を行う必要がある。 今後は、新設から維持改修へのシフトや投資効果の高いものへの集中投資など、道路整備のあり方を検討していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	571,000	763,522	192,522	564,000	565,000
財源内訳					
国庫支出金	282,150	303,249	21,099	254,650	254,650
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	288,850	460,273	171,423	309,350	310,350

予算要求の概要	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう耐震補強 昭和3号線 石浦飯山線(若宮橋) 蒲田左俣線(恵橋) 花本線(広瀬踏切) 下林下岡本線 千島松本線(合崎橋) 上切中切2号線 他
要求額増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 千島松本線(合崎橋)橋梁架替工事着手に伴う事業費の増 石浦飯山線他道路整備事業の事業費の増
事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災等甚大な自然災害被害状況を踏まえ、対策工事の実施が急務である 事業に対する地域全体の合意形成に期間を要する

財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備5か年計画により積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要望がある道路橋りょう新設等についての調査費を計上

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72380	道路舗装新設整備事業費	担当課	基盤整備部 建設課	内線	2328
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7 土木費		分野	3 道路・交通	
	項	2 道路橋りょう費		基本施策	1 便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3 道路新設改良費		施策	2 生活に身近な道路の整備	
実施計画事業	道路舗装事業(維持修繕を含む)					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	町内要望箇所を主とした舗装新設により、道路の走行性や安全性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	未舗装道路の舗装新設 ○道路局、社会資本整備総合交付金(5.5/10)		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	効果的な整備の実施 整備基準の確立		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		整備箇所数	箇所	目標値	10	6	3	4
	算出根拠等	達成率(%)	100	100				
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
	算出根拠等	達成率(%)						
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
	算出根拠等	達成率(%)						
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
	算出根拠等	達成率(%)						
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				9,007	4,862	5,000	10,000
	受益者負担(使用料・負担金等)				0	0	0	0
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				4,417	2,377	0	0
一般財源				4,590	2,485	5,000	10,000	
コスト指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		受益者1人当たり(円)(A/B)		96	52	54	107	
		受益者 市民(4月1日現在)(B)		94,235	93,822	93,312	93,200	
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B	総合計画における生活に身近な道路の整備に寄与する事業である。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	地域からの整備要望は非常に多い。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	順次整備を実施することで、多くの市民に対し道路の走行性や安全性を確保する。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	要望内容を精査し、緊急性の高い箇所から順次整備を実施している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	道路の走行性や安全性の向上を図る方法として有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	効果的な整備の実施のため、要望内容を精査している。整備基準案を策定済。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	使用資材の選定や最適工法の選択等、工事の実施に当たり、常にコスト削減に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	道路の走行性や安全性の向上が図られることから適正である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	15.0 / 20.0	100点換算	75 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	引き続き町内要望対応を主とした整備を行う。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・舗装新設の施工採択基準を明確にする必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	5,000	7,120	2,120	0	0
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	5,000	7,120	2,120	0	0

予算要求の概要	・舗装新設工事
要求額増減理由	・町内要望に対応するため
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・優先性が低いため、予算化しない
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72385	側溝新設改良事業費		担当課	基盤整備部 建設課		内線	2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通	
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3	道路新設改良費		施策	2	生活に身近な道路の整備	
実施計画事業								
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	町内要望箇所を主とした側溝新設により、道路の雨水排水機能の向上を図る。路肩に市有地が存する箇所においては、有効幅員の拡幅による走行性、安全性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	側溝未整備道路の側溝新設 ○道路局、社会資本整備総合交付金(5.5/10)		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	効果的な整備の実施 整備基準の確立		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				① 整備箇所数	箇所	目標値	29	22
	算出根拠等		実績値	29	22		-	
			達成率(%)	100	100		-	
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				②		目標値		
			実績値				-	
			達成率(%)				-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				①		目標値		
			実績値				-	
			達成率(%)				-	
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				①		目標値		
			実績値				-	
			達成率(%)				-	
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			73,097	64,262	45,300	60,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)			7,259	12,005	1,300	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			35,110	25,289	0	0	
	一般財源			30,728	26,968	44,000	60,000	
コスト指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				① 受益者1人当たり(円)(A/B)	776	685	485	644
				② 受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,200
				算出根拠等				

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)	C(0)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		B	総合計画における生活に身近な道路の整備に寄与する事業である。
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	地域からの整備要望は非常に多い。
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		B	順次整備を実施することで、多くの市民に対し道路の走行性や安全性を確保する。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		B	要望内容を精査し、緊急性の高い箇所から順次整備を実施している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		A	道路の雨水排水機能の向上や走行性、安全性の向上を図る方法として有効である。
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	効果的な整備の実施のため、要望内容を精査している。整備基準案を策定済。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		B	使用資材の選定や最適工法の選択等、工事の実施に当たり、常にコスト縮減に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	道路の雨水排水機能の向上や走行性、安全性の向上が図られることから適正である。
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計				15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	引き続き町内要望対応を主とした整備を行う。				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	側溝新設の施工採択基準を明確にする必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	45,300	53,875	8,575	23,500	23,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	1,300	8,248	6,948	8,000	8,000
一般財源	44,000	45,627	1,627	15,500	15,500

予算要求の概要	側溝新設工事
要求額増減理由	町内要望に対応するため 下水道工事に伴う工事箇所の増
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	雨水排水による住宅への浸水箇所や路肩崩壊箇所のほか下水道工事により影響がある路線の側溝整備を優先し積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72386	県営土木事業負担金		担当課	基盤整備部 建設課		内線	2331
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通	
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3	道路新設改良費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成	
実施計画事業	土木事業負担金事業							
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります。支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 県道整備を推進することで、市道とのより良い道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 災害から市民の生命財産の保護を図る。 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 市内で、県が実施する事業への受益者負担の支出。 事業実施箇所の地元説明会の開催。 事業実施箇所の関係者と県との事業調整。 		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等			目標値			
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等			目標値			
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		事業実施金額	千円	目標値	100,000	80,000	80,000	80,000
				実績値	63,378	62,347	80,000	-
				達成率(%)	63	78	100	-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
コスト指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		歳出(千円)(A)		目標値	673	665	857	858
				実績値	94,235	93,822	93,312	93,200
				達成率(%)				
コスト指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		受益者	市民(4月1日現在)(B)	目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)	C(0)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	道路利用者の利便性や安全で安心な生活の確保を図る事業である。
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	効率的な移動、輸送手段の確保や災害に強い地域づくりにむけた喫緊のニーズがある。
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		B	市内地域間との移動を目的とした利用者や災害危険地区住人が対象となる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		B	市を始め、飛騨圏域との連携した提言活動も目標達成の成果を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		B	整備の重要性を訴える提言活動の効果は現れているが、活動内容の効率性向上にむけて工夫する必要がある。
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	他団体との活動内容の統廃合を図る必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		B	活動内容の統廃合など事業の見直しによる事務費削減を検討している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	全市民への円滑な移動手段の確保や安全安心な生活の提供にむけた活動内容から判断し、受益者1人当たりのコストは適正と判断する。
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計				15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	関係者と県との事業調整を進めながら、円滑な事業促進を図る。				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	80,000	80,000	0	70,000	70,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	80,000	80,000	0	70,000	70,000

予算要求の概要	・県が実施する県単独土木事業等の道路、急傾斜工事に伴う地元負担金
要求額増減理由	
事業実施の課題	・事業の目的を達成するため、さらなる事業促進を図る。

財務部査定の考え方	・県単独土木事業の実績により減額
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	74310	街路事業費		担当課	基盤整備部 建設課		内線	2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通	
	項	4	都市計画費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	
	目	3	街路事業費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成	
実施計画事業	昭和中山線整備事業、西之一色花岡線整備事業							
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	高山駅を中心とする都市計画道路で、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	道路の拡幅改良、歩道設置 都市計画道路昭和中山線 L=573m W=6.0(12.0)m 両側歩道付の2車線道路に改良 都市計画道路西之一色花岡線 L=496m W=9.0(17.0)m 両側歩道付の2車線道路に改良 〇都市局街路、社会資本整備総合交付金(5.5/10)		
前回の評価からの改善・改革のポイント	必要な機能を最小限の費用で確保する。 昭和中山線において、国道41号側の用地取得が出来ていない。引き続き交渉を行う。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		道路用地取得面積	m ²	目標値	289	646	1,477	1,315
	算出根拠等	達成率(%)	72	27	-	-		
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
	算出根拠等	達成率(%)						
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		道路整備延長	m	目標値	445	18	0	114
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	-	-		
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)	288,680	77,342	653,000	685,000			
	受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0			
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	145,696	28,970	307,495	376,750			
	一般財源	142,984	48,372	345,505	308,250			
コスト指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		受益者1人当たり(円)(A/B)		3,063	824	6,998	7,350	
	受益者	市民(4月1日現在)(B)		94,235	93,822	93,312	93,200	
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画・市長公約に位置付けられた事業であり、市の道路計画の根幹である都市計画道路を整備する事業である。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	アンダーパスの完成等駅周辺土地区画整理事業の進捗に伴い、当該道路利用者は増加しており、早期完成へのニーズは非常に高い。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	市の道路計画の根幹である都市計画道路を整備する事業のため、その整備効果は市民全体におよぶ。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	C	用地取得が難航している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	将来交通量等都市計画に基づいた幅員構成の道路であり有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	計画段階から、費用最小限での効果的な整備の実施を念頭に、常に改善・工夫に取り組んでいる。早期の用地取得に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	使用資材の選定や最適工法の選択等、工事の実施に当たり常にコスト縮減を図っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	整備効果は市民全体におよび適正である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	本路線が完成すれば、国道41号交差点や駅周辺の渋滞が緩和されるなど、利用者の利便性、安全性が大きく向上する。 計画的な事業の推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の事業用地取得に努める。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・整備計画に従い実施していく必要があるが、今後は投資効果の高い路線を集中的に実施する必要がある。 ・平成22年度事業評価において、早期に事業効果が現れるよう事業を推進する必要があるとの指摘をしており、引き続き事業を推進していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	654,148	466,396	△ 187,752	500,828	500,828
財源内訳					
国庫支出金	359,150	248,481	△ 110,669	275,000	275,000
県支出金					
起債					
その他	153,000	96,300	△ 56,700	97,400	97,400
一般財源	141,998	121,615	△ 20,383	128,428	128,428

予算要求の概要	・都市計画道路昭和中山線 ・都市計画道路西之一色花岡線
要求額増減理由	・財産購入費及び補償費の減
事業実施の課題	・地権者との用地交渉に期間を要する

財務部査定の考え方	・道路整備5カ年計画及び事業用地取得状況を考慮し積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	74401	中部縦貫自動車道等推進事業費	担当課	基盤整備部 建設課		内線	2331
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	7 土木費		分野	3 道路・交通		
	項	4 都市計画費		基本施策	1 便利で快適な道路環境を整備する		
	目	4 中部縦貫自動車道等推進費		施策	1 機能的な道路ネットワークの形成		
実施計画事業	中部縦貫自動車道整備促進事業						
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります。産業振興、交通安全、生活支援、防災等の幅広い観点から、高速交通網、地域連絡主要道路等の整備促進を国、県に対し強く要望します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路利用者全般	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	中部、北陸圏域への人、物の移動を円滑に行い、快適な道路の通行、利便性の高い生活を確保する。		
概要	事業の実施手法(手段)	同盟会を活用し、事業主体である国、県等に対して、事業促進に向けた提言活動の実施。長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた提言活動を実施。民間推進団体の建設促進にむけた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金の交付。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 提言活動回数	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等			目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	-
			達成率(%)	100	100	100	-
成果面	② 負担金・補助金交付額	千円	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等			目標値	1,700	1,400	1,370	1,370
			実績値	814	802	1,370	-
			達成率(%)	48	57	100	-
成果指標	①	回	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等			目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト面	②	千円	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等			目標値				-
			実績値				-
			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		1,075	1,039	1,610	1,400	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源		1,075	1,039	1,610	1,400	
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	(A/B)	11	11	17	15	
	②	受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,200	
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)	C(0)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	総合計画に位置付けられた事業であり、利用者の快適性や利便性の高い生活の確保を図る事業である。
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	災害時の緊急輸送路となる高速道路網のミッシングリンクの解消と、効率的な移動、輸送手段の確保にむけた喫緊のニーズがある。
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		A	通常時は北陸、中部圏域への移動など遠隔地利用者のみが対象となるが、災害時には救援物資輸送など市民すべてが対象となる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		B	市を始め、飛騨圏域及び長野県側との連携した提言活動も目標達成の成果を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		B	整備の重要性を訴える提言活動の効果は現れているが、活動内容の効率性向上にむけて工夫する必要がある。
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	他団体との活動内容の統廃合を図る必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		B	活動内容の統廃合など事業の見直しによる事務費削減を検討している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	高速道路網による全市民への快適な移動手段の提供にむけた活動内容から判断し、受益者1人当たりのコストは適正と判断する。
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		A	投入コストに見合った効果が期待できる。
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計			16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	早期整備促進に向け、関係団体と連携した提言活動の実施。								

総合評価(二次評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
	(担当課評価に同じ)									

議会からの提言等										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	1,790	2,939	1,149	1,660	1,660
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,790	2,939	1,149	1,660	1,660

予算要求の概要	・中部縦貫自動車道の事業促進に向けた要望活動に伴う旅費交通費 ・中部縦貫自動車道の用地取得等事務に伴う消耗品費など
要求額増減理由	・中部縦貫自動車道の用地取得等事務の拡大に伴う事務費の増
事業実施の課題	・円滑な用地取得等に向けた執務体制の整備

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり